Ⅳ 保 健 事 業 と 広 報 事 業

1 医療費適正化・保健事業

（1） 医療費通知 37
（2） 国民健康保険日帰り人間ドック助成事業 37
（3） ジェネリック医薬品普及促進事業 38
（4） 国保特定健康診査・特定保健指導事業 38
（5） 特定健康診査等未受診者対策事業 40
（6） 受診勧奨値を超えている方への対策 40
（7） 重複・頻回受診者等訪問指導事業 41
（8） 糖尿病性腎症重症化予防事業 41
（9） 早期介入保健指導事業 42
（10）高齢者のフレイル対策 42
（11）健康教育事業（ポピュレーションアプローチ） 42
（12）地域包括ケアの推進 42

2 広報事業

（1） 国民健康保険制度啓発事業 44
（2） 市政だよりへの掲載 44
（3） 国保だよりの発行 44

１ 医 療 費 適 正 化 ・ 保　健　事　業

国民健康保険は、地域保険であることの特色を生かし、保健事業を幅広く展開し、要介護者の減少や健康寿命を伸ばすことをめざしている。令和6年3月に、第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)・第4期特定健康診査等実施計画【令和6年度～令和11年度】を策定した。

	国保税収入額	保健事業費	保健事業比率
令和3年度	4,621,638千円	243,641千円	5.27 %
令和4年度	4,389,000千円	246,465千円	5.62 %
令和5年度	4,219,000千円	246,378千円	5.84 %
令和6年度	4,178,198千円	232,280千円	5.56 %
令和7年度	4,228,015千円	234,451千円	5.54 %

（１）医療費通知

① 事業費　　１４，４１９千円

ア.通信運搬費１０，０９０千円　イ.委託料４，２６６千円　ウ.負担金６３千円

② 内容

健康保持のために要した医療費の額などを被保険者に通知し、国民健康保険の役割と健康意識の高揚を図った。全受診者を対象に下記項目について、ポステックスハガキで郵送した。

（通知項目）

ア.受診者氏名　イ.受診年月　ウ.受診日数　エ.受診区分（入院・外来・歯科・薬局別）

オ.医療費の総額　カ.一部負担金　キ.診療を受けた医療機関名

③ 実施回数及び件数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施回数	６回	６回	６回	６回	５回
通知件数	159,257件	157,075件	152,815件	147,993件	121,600件

平成２９年度の税制改正に伴い、医療費通知が医療費控除の医療費の明細書の代わりとして利用可能となった。

（２）国民健康保険日帰り人間ドック助成事業

① 事業費　　１３，６４４千円

ア.通信運搬費　　３６６千円

イ.委託料（検査委託料等）　　１３，２７８千円

② 内容

被保険者の健康保持・増進を目的に、国民健康保険の被保険者に対して、疾病の予防及び早期発見・早期治療を図るため、人間ドック受診希望者に受診費用の一部助成。

（対象者）

福島市国民健康保険の被保険者で、当該年度内において、満３０歳から５歳刻みの３０歳・３５歳・４０歳・４５歳・５０歳・５５歳・６０歳・６５歳に達する方。（国保特定健診受診者は除く。）

（助成額）

費用額の７割を助成

男性　２９，９５３円（費用額 ４２，７９０円）

女性　３１，４９３円（費用額 ４４，９９０円）

（実施機関・実施時期）
福島市の７医療機関・令和７年７月～令和８年２月
（検査項目）
ア.身 体 測 定　イ.理学的検査　ウ.血 圧 測 定　エ.眼 科 検 査　オ.血液化学検査
カ.肝 臓 検 査　キ.心電図検査　ク.腎機能検査　ケ.糖尿病検査　コ.胃　検　査
サ.子宮頚部検査　シ.胸部Ｘ線検査　ス.便潜血反応検査　セ.腹部超音波検査
※オプション
ソ.前立腺腫瘍ﾏｰｶｰ検査　タ.乳房検査（ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ）

③ 受診者数
男性　１６１人　女性　２１５人　計　３７６人

（３）ジェネリック医薬品普及促進事業

① ジェネリック医薬品希望シール配付
ア.事業費　６６０千円
・ジェネリック医薬品希望シール作成　印刷部数　４８,０００枚
印刷製本費　６６０千円
イ.内容
・ジェネリック医薬品の普及促進のため、被保険者証交付時（更新・再交付・新規）に、ジェネリック医薬品希望シールを配付した。

（４）　国保特定健康診査・特定保健指導事業

① 事業費　１９８，９０７千円

ア.報償費（保健指導）	３５３千円	イ.消耗品費	４８３千円
ウ.印刷製本費	３１０千円	エ.通信運搬費	２７４千円
オ.手数料（データ管理等）	３，４９１千円	カ.電算業務委託料（電算処理等）	５，５９５千円
キ.その他の委託料（健診・保健指導）	１８７，１７４千円	ク.使用料及び賃借料（ﾊﾟｿｺﾝ等）	４７５千円
ケ.負担金（KDBｾｷｭﾘﾃｨ保守等）	７５２千円		

② 目的
被保険者の健康保持・増進を図るため、特定健康診査とともに、自らが生活習慣を変える等の改善を日常生活の中で実践できるように、特定保健指導を実施し、健康で快適な生活の支援に取り組む。

③ 内容
（特定健康診査）
ア. 実施期間・機関　６月１日～１０月３１日　市内１１６医療機関（個別健診）
イ.特定健診受診者の数・内訳等　表１～表５のとおり

表１　特定健診受診者数の年度推移　（単位：人・％）

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
対象者	43,448	42,897	40,897	39,113	37,647
受診者	17,810	18,124	17,306	17,207	16,466
受診率	41.0%	42.3%	42.3%	44.0%	43.7%

表２　健診別受診者数の年度推移　（単位：人・％）

区分	令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
個別健診	17,808	99.9%	18,124	100%	17,305	99.9%	17,207	100%	16,465	99.9%
事業主健診	2	0.1%	－	－	1	0.1%	－	－	1	0.1%
計	17,810	100%	18,124	100%	17,306	100%	17,207	100%	16,466	100%

表３　年齢別、男女別　受診者数　（単位：人・％）

	計			男			女		
年齢	対象者	受診者	受診率(%)	対象者	受診者	受診率(%)	対象者	受診者	受診率(%)
40-44	1,968	420	21.3%	1,090	216	19.8%	878	204	23.2%
45-49	2,293	507	22.1%	1,264	256	20.3%	1,029	251	24.4%
50-54	2,707	651	24.0%	1,435	315	22.0%	1,272	336	26.4%
55-59	2,841	841	29.6%	1,381	357	25.9%	1,460	484	33.2%
60-64	3,886	1,519	39.1%	1,811	631	34.8%	2,075	888	42.8%
65-69	8,053	4,174	51.8%	3,535	1,704	48.2%	4,518	2,470	54.7%
70-74	15,899	8,354	52.5%	7,299	3,705	50.8%	8,600	4,649	54.1%
計	37,647	16,466	43.7%	17,815	7,184	40.3%	19,832	9,282	46.8%

表４　年齢別、男女別　受診率の年度推移　（単位：％）

性別 / 年度 / 年齢	男					女				
	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
40-44	14.9%	15.9%	16.5%	19.0%	19.8%	19.7%	23.4%	22.5%	24.4%	23.2%
45-49	18.1%	18.2%	19.6%	19.8%	20.3%	21.6%	21.9%	22.1%	25.2%	24.4%
50-54	19.4%	18.9%	18.9%	20.7%	22.0%	25.8%	26.9%	26.3%	29.6%	26.4%
55-59	23.2%	24.7%	25.0%	27.3%	25.9%	33.2%	32.6%	32.6%	34.2%	33.2%
60-64	30.0%	32.0%	30.8%	34.3%	34.8%	42.8%	43.5%	42.8%	44.5%	42.8%
65-69	43.8%	46.5%	45.8%	47.1%	48.2%	49.3%	52.7%	52.2%	53.7%	54.7%
70-74	46.4%	49.5%	48.6%	50.9%	50.8%	51.5%	54.3%	52.7%	53.8%	54.1%
計	37.1%	38.5%	38.5%	40.3%	40.3%	44.4%	46.2%	45.8%	47.3%	46.8%

表５　メタボリック症候群判定　（単位：人・％）

年齢	受診者数	基準該当		予備群該当		非該当	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
40-44	420	46	11.0%	58	13.8%	316	75.2%
45-49	507	76	15.0%	62	12.2%	369	72.8%
50-54	651	96	14.7%	132	20.3%	423	65.0%
55-59	841	156	18.5%	113	13.4%	572	68.0%
60-64	1,519	330	21.7%	156	10.3%	1,033	68.0%
65-69	4,174	986	23.6%	498	11.9%	2,690	64.4%
70-74	8,354	1,959	23.4%	1,072	12.8%	5,323	63.7%
計	16,466	3,649	22.2%	2,091	12.7%	10,726	65.1%

（特定保健指導事業）

ア.保健指導実施機関　市内１６医療機関

イ.保健指導利用者の数・内訳等　表６～表８のとおり

表６　特定保健指導対象支援方法別年齢内訳　（単位：人・%）

年齢	受診者	動機付け支援		積極的支援		なし	
		人数	割合（%）	人数	割合（%）	人数	割合（%）
40-44	420	33	7.9%	46	11.0%	341	81.2%
45-49	507	31	6.1%	59	11.6%	417	82.2%
50-54	651	66	10.1%	72	11.1%	513	78.8%
55-59	841	44	5.2%	65	7.7%	732	87.0%
60-64	1,519	68	4.5%	71	4.7%	1,380	90.8%
65-69	4,174	369	8.8%			3,805	91.2%
70-74	8,354	540	6.5%			7,814	93.5%
総数	16,466	1,151	7.0%			15,002	91.1%
	※3,938			313	7.9%		

※積極的支援・動機付け支援相当の母数は 40～64 歳までの受診者

表７　特定保健指導実施数　（単位：人・%）

区分	対象者数	※指導人数	指導実施率
動機付け支援	1,151	150	13.0%
積極的支援	313	26	8.3%
計	1,464	176	12.0%

※指導人数は初回面接終了者数

表８　特定保健指導実施率の年度推移　（単位：%）

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
動機付け支援	12.3%	16.0%	13.4%	12.0%	13.0%
積極的支援	10.8%	9.5%	13.8%	10.5%	8.3%
動機付け支援相当	－	50.0%	－	100%	－
計	12.0%	14.8%	13.5%	11.8%	12.0%

（５）特定健康診査等未受診者対策事業

① 事業費　８，４８１千円
委託料（勧奨業務）　８，４８１千円

② 内容
特定健康診査等委託医療機関と連携し、受診勧奨を行った。
特定健康診査未受診者及び、特定保健指導未利用者に対して、ハガキ・ＳＭＳ・コールセンター等による受診勧奨を実施した。

③ 実績
特定健康診査：受診勧奨　１２，７５０人
特定保健指導：利用勧奨　延２９３人

（６）受診勧奨値を超えている方への対策

① 事業費　５６４千円
ア.報償費（保健指導）　２４５千円　イ.消耗品費　１９８千円
ウ.通信運搬費　１２１千円

② 実績
ア．受診勧奨値を超えている方へ通知による受診勧奨を実施
・血　圧：高血圧分類Ⅱ度～Ⅲ度高血圧の方　４０５人

・血　糖：ＨｂＡ１ｃ７．０%以上または空腹時血糖１２６ｍｇ／ｄｌ以上
かつＨｂＡ１ｃ６．５%以上の方　２６３人
・脂　質：中性脂肪４００ｍｇ／ｄｌ以上または、LDL１６０ｍｇ/ｄｌ以上
で動脈硬化性疾患予防ガイドラインで対象となった方　２２０人
・腎機能：ｅＧＦＲ４５未満の者または尿蛋白（２＋）以上の方または
尿蛋白（＋）以上で尿潜血（＋）以上の方　１０７人
・心房細動：既往に心臓病がなく、心電図検査で心房細動所見のあった方　６３人

イ．電話・訪問による受診勧奨および保健指導を実施　５１８人
事業従事者：在宅保健師、管理栄養士

（７）重複・頻回受診者等訪問指導事業

①重複・多剤服薬者への保健指導事業

ア．事業費　６３千円
・報償費　５０千円　・通信運搬費　１３千円

イ.内容
重複服薬者・多剤服薬者に対して通知と家庭訪問による指導を行った。

ウ.実績
対象者７９人　通知送付７９人（うち家庭訪問１４人）

②治療中のコントロール不良対策

ア.内容
重複受診、頻回受診、長期受診、生活習慣病治療中の方で、指導が必要である方を選定し保健指導を行った。

イ.実績
対象者：３４人
対応数：２６人（通知後、訪問・来所による保健指導:１９人、電話による保健指導：７人）

（８）糖尿病性腎症重症化予防事業

① 事業費　４，１６８千円

ア.報償費（保健指導）	３８６千円	イ.消耗品費	６８千円
ウ.通信運搬費	１８５千円	エ.委託料（運動教室）	３，５２９千円

② 内容
糖尿病重症化による合併症予防のため、健診結果やレセプト情報から抽出された対象者に、病態を学ぶための学習会や栄養や運動等の個別指導を行った。

③ 実績

ア.管理栄養士による栄養相談		４９人
イ.腎臓を守るための講演会と個別相談（CKD予防教室）	講演会	５２人
	個別相談	８人
ウ.運動を中心とした個別保健指導	利用者	４２人
エ.糖尿病中断者への受診勧奨		４３人

（9）早期介入保健指導事業

① 内容

４０歳未満の国保被保険者「既存健診対象外の県民に対する健康診査（１９～３９歳の健康診査)」および「国保日帰り人間ドック受診者」に対し、受診勧奨および保健指導を実施

② 実績

２４人

（１０）高齢者のフレイル対策

① 事業費　２８０千円

ア.報償費（保健指導）　４８千円　イ.通信運搬費　２３２千円

② 内容

フレイル及び低栄養リスクが高い国保高齢者へ栄養相談を行った。

③ 実績

管理栄養士による栄養相談　１０人

（１１）健康教育事業（ポピュレーションアプローチ）

① 事業費　１９６千円

消耗品費（小冊子購入等）　１９６千円

② 内容

乳幼児の食事習慣が将来の生活習慣病につながると同時に、食生活の改善が健康増進や疾病予防につながることから、幼児期の食育に関する小冊子を活用し、食生活の啓発を図る。

喫煙とＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）の関連が指摘されており、喫煙習慣の減少とたばこの影響についての理解を深めていく対策が求められていることから、ＣＯＰＤに関するパンフレットを活用し、禁煙を促すとともにＣＯＰＤについて普及啓発を図る。

多量飲酒は生活習慣病やアルコール依存症につながることから、危険性に関する小冊子を活用し、啓発普及を図る。

③ 実績

出生時等に市民課、各支所の窓口等で、被保世帯に「子どもノート」を配布　６３冊

保健指導時、個別健診問診時に、ＣＯＰＤ、アルコールに関する小冊子を配布

（１２）地域包括ケアの推進

① 事業費　３２１千円

ア.報償費　６２千円　イ.印刷製本費　２５９千円

② 目的

高齢者の尊厳の保持と自立支援のため、地域の自主性を生かしながら、関係者と協力・連携して、課題を抱える被保険者の把握と働きかけにより、被保険者を支える仕組みづくり、まちづくりなどを進める。

③ 内容

地域包括ケアに関する会議への出席

医療、介護、保健、福祉サービス関係者との情報共有

住民主体の地域活動の支援（出前講座の実施）

人生会議（ＡＣＰ）の普及（「わたしの人生ノート」作成）

④ 実績

・「わたしの人生ノート」　５００冊作成

・福島市在宅医療・介護連携支援センターと連携し、地域の団体に出前講座を実施

・わたしの人生ノート改訂版記念講演会　参加者９１人

2 広 報 事 業

(1)国民健康保険制度啓発事業

国民健康保険パンフレット「わたしたちの国保制度」の作成・配布

(a) 事業費　1,859千円

① 印刷製本費　1,859千円

(b) 内容

国民健康保険に関するパンフレット「わたしたちの国保制度」を作成し、健康増進と制度啓発のため、資格確認書等更新時や新規加入時に配布した。

・作成部数　52,000部

(2)市政だよりへの掲載

毎月発行の「市政だより」に国保コーナーを設け、分かり易く制度の説明・事業案内等を載せ国民健康保険の啓発を行った。

(3)国保だよりの発行

国保特集号として、市政だより折込で年2回発行。

(a) 事業費　1,586千円

① 印刷製本費　1,586千円

(b) 内容

国民健康保険制度と健康づくりについて

・ 発行部数　年間 209,000部